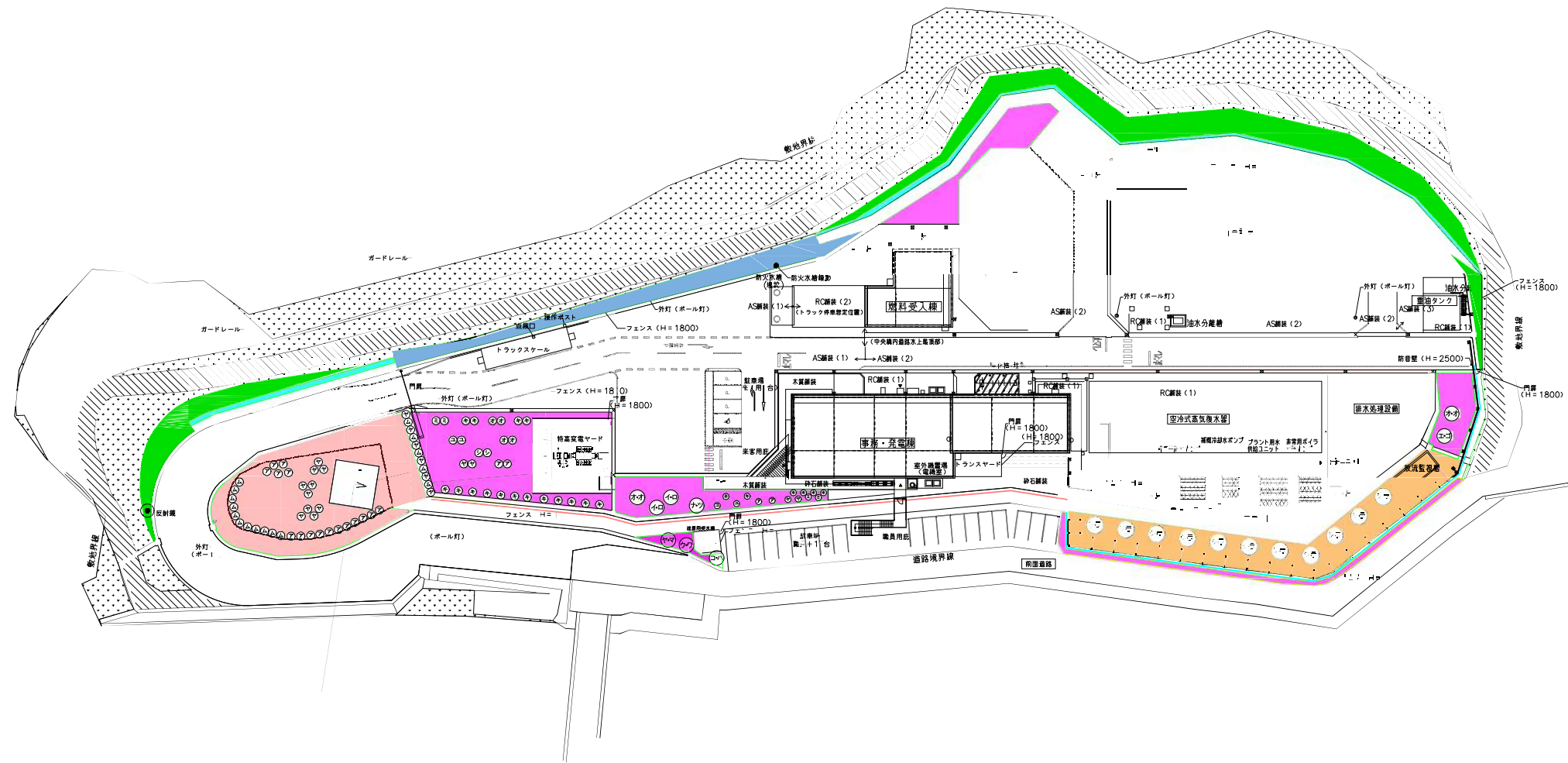
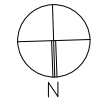


7. 陸上動物

植栽配置図(最終図)



植栽リスト

記号	樹種	規格				数量	単位	備考
		樹高(植栽時)	樹高(将来時)	幹周	葉張			
高木	シラ	シラカシ	8.0m	15.0m		11	本	
	イロ	イロハモミジ	3.0m	5.0m		2	本	
	オオ	オオモミジ	3.0m	5.0m		2	本	
	ナツ	ナツツバキ	3.0m	5.0m		1	本	
	エゴ	エゴノキ	3.0m	5.0m		1	本	
	ヤマ	ヤマボウシ	3.0m	5.0m		1	本	
	コハ	コハウチワカエデ	3.0m	5.0m		1	本	
	ウウ	ウウミズザクラ	3.0m	5.0m		1	本	
	①	ヤマツツジ	0.3m	1.0m		16	株	鉄塔エリア・法面部
	②	ムラサキシキブ	0.3m	1.0m		16	株	鉄塔エリア
低木	③	アブラチャン	0.3m	1.0m		16	株	鉄塔エリア
	④	オトギリシズク	0.3m	1.0m		4	株	事務来客用駐車場エリア
	⑤	ヤマツツジ	0.3m	1.0m		4	株	事務来客用駐車場エリア
	⑥	ミツバツツジ	0.3m	1.0m		2	株	特高受変電エリア
	⑦	ミツバツツジ	0.3m	1.0m		2	株	事務来客用駐車場エリア
	⑧	アセビ	0.3m	1.0m		4	株	事務来客用駐車場エリア
	⑨	ユキヤナギ	0.3m	1.0m		4	株	事務来客用駐車場エリア
	⑩	ヤマブキ	0.3m	1.0m		16	株	特高受変電エリア
⑪	ヤマブキ	0.3m	1.0m		6	株	事務来客用駐車場エリア	

植栽リスト

記号	樹種	規格				数量	単位	備考
		樹高(植栽時)	樹高(将来時)	幹周	葉張			
①	テイカカズラ			9mVP	3芽立	330	Pot	3Pot/m北壁側、擁壁部
②	ナツツタ			9mVP	3芽立	330	Pot	3Pot/m防音壁部
③	ススキ							南側擁壁上部は、客土種子吹付(エコパーク工法)とし、ススキ種子2.5g/m ² を配合する。 ※造成工事(別途工事) ※外構工事
④		0.3m				700	束	加えて左記数量を植付ける(1本/㎡:壹株)
⑤	野芝							芝場部分の土壌は、表面より、深さ150mmの範囲を 掘削の上、表土100mm、客土50mmとして整地する。 ※造成工事(別途工事)
⑥	野芝							芝場部分の土壌は、表面より、深さ150mmの範囲を 掘削の上、表土100mm、客土50mmとして整地する。 ※外構工事
⑦	吹付種子 (洋芝3種)							短草類混合(ケンタッキーブルーグラス パミューダグラス、レッドフェスク) 客土種子吹付(エコパーク工法) ※造成工事(別途工事)
⑧	吹付種子 (洋芝3種)							短草類混合(ケンタッキーブルーグラス パミューダグラス、レッドフェスク) 客土種子吹付(エコパーク工法) ※外構工事

高さ	有効土層		植穴	
	深さ	幅	深さ	幅
高木 H8.0	1.2m	1.24m	0.75m	1.40m
高木 H3.0	1.5m	1.11m	0.46m	1.11m
低木	0.6m	0.37m	0.28m	0.37m
ツタ類	0.3m	0.29m	0.23m	0.37m

*植栽時は有効土層まで耕運し、植穴は現地良質土に
土壌改良材を混合して植栽する

最終図	株式会社大塚一級建築士事務所		大月バイオマス工事事務所			
	受領日		所長	副所長	工事長	担当者
2018.01.31	工単名	大月バイオマス発電所建設工事				
図面	図名	外構図一構造物詳細図(8)				
修正	修正番号	A1:1/300 A3:1/600				
発行	発行日	008/011				
備考	大塚組 大月バイオマス発電所 工事事務所					

アスファルト舗装(As2層、総厚50cm)	木質舗装ブロック(屋内屋外共 100)	BM高	X1(302)=TP+547.894, X2(301)=TP+544.533	レベル	燃料受入機IFL±0:TP+550.770
アスファルト舗装(As2層、総厚45cm)	砕石舗装(厚10cm、凍結抑制32cm、総厚42cm)	レベル	空冷式蒸気復水器(IPFL+1380):TP+551.980		ホイル設備基礎(IPFL±0):TP+550.600
アスファルト舗装(As1層、総厚45cm)	植栽帯(野芝)、Gs(1)※は造成		サイド基礎(IPFL+500):TP+551.100		重油タンク基礎(IPFL-580):TP+450.020
コンクリート舗装(Co15cm、総厚30cm)	植栽帯(種子吹付+ススキ植付)、Gs(2)※は造成		事務棟IFL±0:TP+550.800		排水処理設備基礎(IPFL-730):TP549.870
コンクリート舗装(Co25cm、総厚50cm)			発電棟IFL-350:TP550.450		特高受変電設備基礎(IPFL-1200):TP549.400

【濁水防止策の実施（カワネズミ・オシドリの保全）】資料7-3

仮設沈砂池



仮設沈砂池の規模



強雨時の状況 1



強雨時の状況 2



降雨後 2 日目の状況

【廃棄物・ゴミ処理方法の徹底化】資料7-4

現場ルールの説明会



ゴミの分別・環境配慮他説明会



仮設工事
産廃分別状況
全景



仮設工事
産廃分別状況
スクラップ・木屑・CONガラ



仮設工事
産廃分別状況
混合・廃プラスチック



仮設工事
産廃分別状況
段ボール



仮設工事
産廃分別状況
段ボール

【廃棄物・ゴミ処理方法の徹底化】

（食品ごみ、一般ごみ保管倉庫の写真）

食品ごみ、一般ごみは野生動物に荒らされないために現場事務所横にごみ保管庫に保管して産業廃棄物として業者に委託して処理している。（普段は締め切って施錠している）



食品ごみ、一般ごみの保管倉庫内の写真

新規入場者教育



新規入場者教育実施状況



新規入場者教育実施状況

新規入場者教育資料

大月バイオマス発電所建設工事

大月バイオマス発電所建築 工事事務所



工事概要

1. 工事名 : 大月バイオマス発電所建設 工事
2. 住所 : 山梨県大月市笹子町白野向野尻1152
3. 発注者 : 大月バイオマス発電所 株式会社
4. 設計 : 大林組 東京本社 一級建築士事務所
5. 施工 : (株)大林組 大月バイオマス発電所建築 工事事務所
6. 工期 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 7 月 31 日
7. 構造 : S 造、地上 2 階
8. 用途 : 発電所(木質チップ)
9. 規模 : 敷地面積 : m²
建築面積 : m²
延床面積 : m²

工事現場住所 : 〒 401 - 0023 山梨県大月市笹子町白野向野尻1152

電話番号 : 電話 0554 - 56 - 7603 ・ FAX 0554 - 56 - 7608



場内の仮設設備



新規入場の皆さんへ — 新規入場作業員心得 —

1. 当現場入場作業員は、必ず保護帽、安全帯(大口径)を完全着用のこと。
(2m以上の高所作業では、必ず安全帯を使用して下さい。建設現場による労働災害で安全帯を使用すべき作業で安全帯を使用していない為に起きる事故が大半を占めますので十分に注意して下さい。)
2. 作業時間は、AM 8:00 分から PM 5:00 までとし、早出残業するときは現場事務所担当者に連絡すること。
3. 通勤車両、現場搬出入車両は、駐車場用ゲート・現場正面ゲートから入場とし、誘導員の指示に従い指定された場所に駐車すること。(アイドリングストップに心がけて下さい。
注1) 午前8:00分～8:30分(周辺の小中学校通学時間)の資材搬出入は禁止。
注2) 搬出入工事車両は、周辺の小中学校前を通らないこと。
4. 現場での決められた行事(安全朝礼、一斉清掃、安全大会、その他安全行事)には全員必ず出席のこと。
(* 朝礼・・・毎朝 7:50 ～ * 一斉清掃・・・毎週 金曜日 13:00 ～)
5. 現場内は決められた場所(・詰所際喫煙所・車両の中・吸殻入れ設置場所)以外は禁煙です。
くわえたばこでの歩行は厳禁です。また、場内に設置してある吸殻入れの移動も厳禁です。
6. 場内では、決められた通路、昇降階段を利用すること。
7. 機械、工器具等は、持込許可ステッカーを貼り、使用前点検を行い、記録のこと。
8. 朝礼後、作業開始前に**作業員全員がアタックケーワイ(ATKY)活動**を必ず行って下さい。
(記入した記録用紙は安全掲示板横に掲示し、作業終了後事務所に提出して下さい。)
あなたに対して職長(安全衛生責任者)からの作業前の安全点検確認(ATK)項目を確認して安全点検確認(ATK)を実施してから作業を開始して下さい。
9. 作業終了後のルール
 - ① 作業場周辺の清掃は必ず行うこと
 - ② 照明及び電動工具の消灯
 - ③ 帰る前に必ず事務所に報告すること
10. 詰所内のルール
 - ① 常に清掃に心がけること
 - ② 最後に出る人は消灯及びストーブの消火を忘れないこと
 - ③ 持ち込んだ生活ごみ(雑誌、空弁当ばこ等)は各自持ち帰ること。詰所内に放置は厳禁
11. ごみの捨て方のルール
 - ① 産廃の分別に心がけること(金属、木屑、廃プラ、紙屑各産廃カゴに捨てること。軍手、カップ等の生活ごみの投捨ては厳禁)
 - ② 空き缶、空ペットボトルは自販機横の空き缶入れに捨てること。
 - ③ 持ち込んだ生活ごみ(雑誌、空弁当ばこ等)は各自持ち帰ること。詰所内に放置は厳禁
 - ④ その他の生活ごみの置場は詰所内に設置し、回収は職長会で行うこと
* 生活ごみ・・・空缶、空ペットボトル、軍手、雑誌、雨カップ等です。

各職長さんへ

1. 朝礼後、作業開始前にアタックケーワイ(ATKY)活動を職長が中心になって全員で行って下さい。
2. 毎日11:30～作業及び安全打合せを事務所会議室で行っています。必ず出席して下さい。
3. 女子年少者、高齢者、健康注意者、高血圧者等は、職長が責任を持って適正配置をすること。
4. 作業開始時及び作業終了時には忘れずに**当現場職員に報告**して下さい。
(作業終了報告時、ATKY記録用紙を提出すること)

玉掛作業をする皆さんへ

1. 作業開始前に資格証の携帯を確認して下さい。(資格証不携帯は無資格と同じです)
2. 玉掛けワイヤーは、4分以上のものを使用して下さい。3分ワイヤーの使用は元請の許可制とします。
3. 玉掛けワイヤーの点検色は 緑 → 黄 → 赤 → 白 の順に毎週変わります。その月の点検色になっているか確認してから作業を開始して下さい。
4. 小物資材の荷振りはワイヤーモックを使用すること。また、木パレットの揚重は厳禁です。
5. バックホーで物を吊り上げる用途外使用は禁止します。(1t未満の吊り上げも禁止します)
クレーンまたはクレーン付ショベルを使用して下さい。クレーン付ショベルを使用する場合は「小型移動式クレーン運転技能講習終了者」と「車両系建設機械運転技能講習修了者」の2つの資格が必要です。

火気作業をする皆さんへ

1. 消火器は各自持参し(場内に設置している消火器の移動は、厳禁です)、側に消火器を設置してから作業を開始すること。
2. 前日の作業打合せ時に火気使用届けを提出し、許可を得ること。
3. 火気作業終了後 30分 は火気の確認を行い、事務所に報告すること。

1. 本日の現場状況及び危険箇所の説明

2. 当現場での環境への配慮

(1)クマタカ等野生動植物への配慮として出来るだけ騒音や振動に注意し、排気ガス排出抑制に努める。

→ アイドリングストップ、低騒音機器の使用、こまめなエンジン停止

(2)笹子川の水質汚濁が無いように排水に注意し、不用意な排水を行わない。

→ 決められた場所に排水する。

(3)夜間照明は出来るだけ局所とする。

→ 近隣や周囲の動物への配慮を心がける。

(4)その他都度注意事項を伝達するので遵守する。

3. シール配布

4. 「**一声掛け運動**」のシールにひらがなで名前を記入しヘルメットの前後2箇所に貼って下さい。

5. 質問など …

以上で「新規入場者教育」を終わります。

無事故で竣工できるようよろしく申し上げます。

大月バイオマス発電所建設 工事

車両進入経路



【ロードキル防止のステッカーの写真】



①



①



②



②



③



③

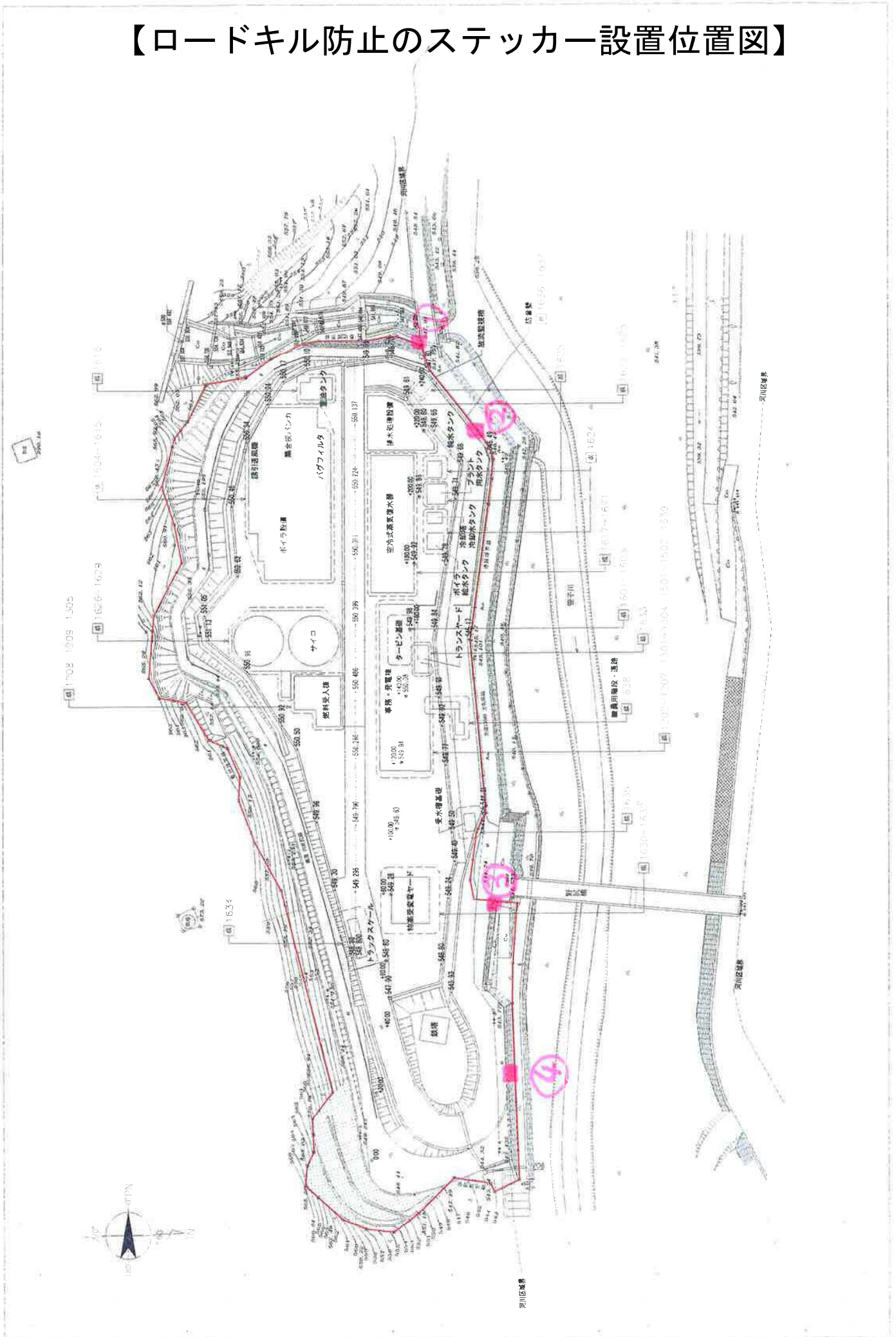


④



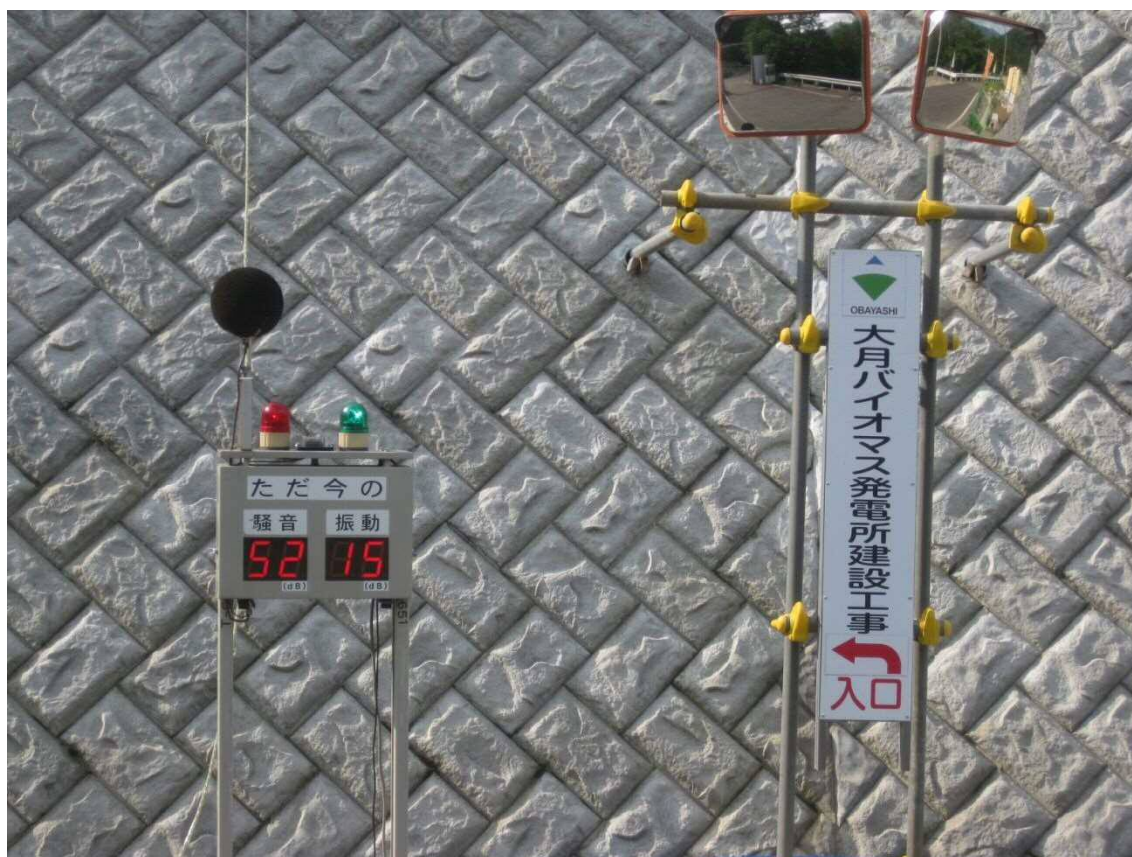
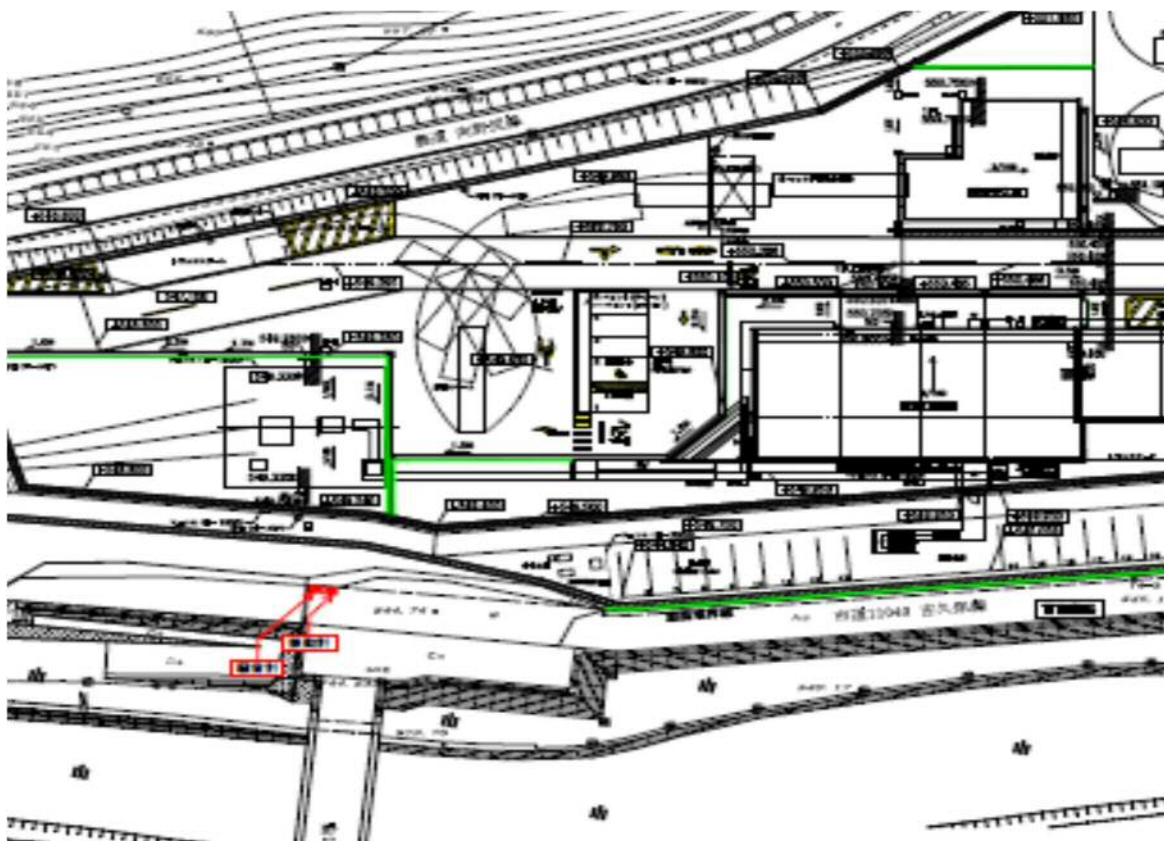
④

【ロードキル防止のステッカー設置位置図】



【クマタカの繁殖期に配慮した事業所内の対応】 資料7-7

【事業区域内に設置した騒音・振動計の場所の図面】



事業区域内の騒音・振動表示板

【騒音・振動表示の意義】

工事作業場の入り口に騒音・振動表示をおこない、入場車両、入場作業員に騒音・振動への配慮を促すために設置した。場内で表示された数値を見ることで作業員に騒音・振動の発生の軽減の意識付けを行った。